

◎意見募集期間 令和2年11月30日（月）～令和2年12月25日（金）

◎応募意見状況 応募者数5名 意見数 10件

No.	ページ	項目	内容	市の考え方（案）
1	P11	8	<p>8. 転用可能教室の活用</p> <p>学校外にある学童に通うことは、犯罪や交通事故にまきこまれる危険があり、学校（敷地）内に設置することは大いに賛成である。</p> <p>ただ、放課後児童クラブ等は、働く保護者が増えているため（子どもが減少傾向であって）引き続き、増設が必要であるところが多い。増設が、空き教室がないためできないという言い訳にならないように、適宜空き教室に拘らず増設していただきたい。また、空き教室内の運営においても、学校・市・運営団体の責任のなすりつけ合いでなく、子どもたちの安全かつ健全な育成のために良き運営をするのための協業関係を築いていただきたい。</p>	<p>学校の転用可能教室につきましては、引き続き、放課後児童クラブ等をはじめ、学校用途に限定しない広い視点での活用を関係各課と協力の上、図ってまいります。</p>
2	P11	9・10	<p>9. 小学校給食調理業務の委託化</p> <p>10. 保育所給食調理業務の委託化</p> <p>この2点は、食の安全確保という点から、反対である。委託先での食中毒等の事故が、たびたび報道され、（まとめて委託することにより）被害が広範囲になる可能性や、（事故対応によって）供給が止まり、安定的な供給ができない可能性がある。</p> <p>また、特に保育所については、子どもの発達状況から食物アレルギーを持っている割合が小学生よりも高く、保護者との小まめな対応も必要なことから、委託先が（アレルギーの子どもへの対応が）できない可能性があり、保護者への負担が増大する可能性が高い。</p> <p>導入については、負担が大きくなる保護者への十分な説明や配慮を行い、承諾を得るプロセスを入れることを求める。</p>	<p>上尾市では、安心で安全な保育所給食、小学校給食を提供できるよう運営に努めておりますが、給食調理業務を担う給食調理員の採用などに苦慮しております。現在、中学校給食調理業務を委託化しており、安心で安全な給食を安定的に提供できている実績があります。</p> <p>保育所、小学校につきましても民間事業者の専門的な知識、技術を活かし、食の安全確保やアレルギー対応などを前提としたうえで、委託化の可能性を多角的な観点から検討してまいります。</p> <p>なお、給食調理員の募集は市ホームページや市広報への募集記事の掲載、ハローワークへの掲載依頼、公共施設等へのポスター・チラシの設置を行っています。</p>
3	P11	9・10	<p>小学校、保育所どちらも職員の採用・勤務体制の確保に苦慮しているとあるが、どのように募集を行っているのか。（待遇など）</p> <p>子どもたちの育ちを支える一番大事な給食を民間に委託することは、非常に不安であり、市として専門の職員を確保し安心・安全な給食を提供してほしいです。</p> <p>とりわけこの分野で民間活力の活用はやめて下さい。</p>	

No.	ページ	項目	内容	市の考え方（案）
4	P12	12	<p>1 2. 証明書発行センター業務の委託化</p> <p>ICT化については、賛成である。しかし、全面的に委託化することには、反対である。なぜならば、市にノウハウがたまらず、委託先に依存することになり、運営費をずっと払い続けることや、委託先を変えることが難しい設計をされてしまうリスクなどから、運営費の増大などに対して、市自らの手で対処できなくなる可能性があるためである。初期導入のための設計・構築等は、外注することはあっても、その後の運用は市で（一部でも）運営するよう、委託先に市への教育含めて行うことを求める方が良い。</p> <p>この項目に限らず、委託＝丸投げの考えは改めていただき、コスト・運営の質をきちんと監督するよう求めたい。</p>	<p>証明書発行センターの委託化、ICT化については、今後の選択肢の1つとして、他市町村の状況や費用対効果などを検証している段階です。ご指摘いただいた点についても十分に協議して検討してまいります。</p>
5	P12	14	<p>現状と課題で、指定管理者制度の導入の理由として、「多様で効率的 なサービス提供」とあるが、具体性に欠けている。</p> <p>カウンター業務を（株）ナカバヤシに委託している現状であるが、それ を指定管理者制度導入にすると、どこがどう違うのかについて記述が無い。</p>	<p>民間活力の導入は、民間事業者のノウハウの活用や経費の削減効果も期待できると考えています。よって、多様化する市民ニーズに応え、限られた財源の中で最大の効果を得られるような管理運営方法を検討してまいります。</p>
6	P14	22	<p>2 2. 開かれた行政の実現</p> <p>あえていえば、ここの項目に当てはまるのではないかと思います。性的マイノリティの人々・外国人市民への配慮や、情報をオープンにすることを加えて求めたい。</p>	<p>本年度策定中のの総合計画において、性的少数者への理解の促進や外国人市民との相互理解のほか、多様な市民の特性に応じた伝わりやすい情報発信などについて取り組んでいくこととしております。</p>
7	P14	23	<p>職名としての「司書」「司書補」を採用し、図書館サービスの充実を図る。</p>	<p>資格者の配置を含めた組織体制については、現在、適正に運営できていると考えております。今後も本市を取り巻く環境や地域の実情に基づいて、総合的に判断してまいります。</p>
8	P14	23	<p>埼玉県で採用され、現在上尾市に勤務し、給与も市が負担している職員について見直しをおこなう（いずれは各学校に異動する職員「県費負担教職員」である）。</p> <p>具体的には、現在17名配置されている教育委員会の「指導主事」を7名減員すれば、5,000万円前後の人件費が浮く。</p>	<p>教育委員会の事務事業を執行するにあたって、必要な人材を適正に配置しております。</p>
9	全体	全体	<p>上尾市の今後は、行政経営部にゆだねられています（但し市長しだい、これでは困ります）行政プラン、総合計画、地域創生ビジョン・戦略において、全て人口減少社会とそれにとまなう税収の減少を考えなければならない。</p> <p>今までの実例として①新図書館②パークゴルフ場（戸崎公園）の計画について検証が不可欠である。両方ともに利用人数の水増し計画、新図書館の元大江化学の土地の建物の購入価格など、行政経営として何故その時チェック出来なかったのか、あえてしなかったのか。それでは職員の方々の努力と税金が水の泡である。</p> <p>上平地区複合施設もパークゴルフも市長と一部地元住民（議員も含め）の妥協の産物とならないことを祈りたい。</p>	<p>貴重なご意見として賜ります。</p>
10	全体	全体	<p>全体として市民サービスを削減する話ばかり。</p>	<p>今回の上尾市行政改革プランでは「コスト削減」のみならず、「行政サービスの向上」や「スマート自治体」にも重点を置いて改革を果敢に実行することとしております。</p>